



モジュール2-1

● 表題・枚数・時間

- 法と倫理－法の基礎知識と、法と倫理について、モジュール 22 枚, 約 30 分

● モジュールの概要

このモジュールは、臨床倫理問題に対処するためにぜひ知るべき法の(常識的な)知識と、法と倫理の関係を伝える。そして、知識をただ伝達するだけでなく、その知識が臨床倫理問題に対処するためになぜ必要であるかについても併せて解説する。

法と倫理との関係についても解説する。法が関わることで、行為が他律的・強制的になる。その意味で自律的な倫理が重要となるが、何を法として、何を倫理として対処するかの基本的な考えは(必ずしも)共有されていない。そのような中、臨床倫理の重要な論点では、法と倫理の関係が問題となる場合があり、その場合の考え方を学ぶことは重要である。

そして、倫理的になるためには、法的な階段をまず一歩登ることが必要であることを指摘する。

● 講師からのキーメッセージ

1. 法の基礎的知識を、その必要とされる理由も含めて、知る。
2. 法の性質や機能、倫理の性質や機能を比較し、法と倫理の関係を知る。
3. 法的な「自分の責任回避の方法」を満たし、倫理的な次のステップが必要であることを知る。

● モジュールの目標

このモジュールを修了すると、受講者は:

1. 臨床倫理問題を考える際に必要な法的な基礎(基本的)知識を説明することができる。
2. 法と倫理の性質や機能上の差異を説明できる。
3. 法を守り、倫理的になるための方策を説明できる。

● 事例を検討するにあたって

事例

- 意思決定能力ある ALS の患者が、将来、TLS(total locked in state)となった場合には人工呼吸器を外して欲しいと書面で申し入れた事例です。
- 倫理的検討プロセスを経て、患者の意思を尊重すべきとした倫理委員会の意見は、外部の法律家の法的リスクがあるとの指摘から、院長は決断をしませんでした。患者は、2019 年に TLS の中、死亡しています。
- ここでは、倫理委員会(または、倫理コンサルテーションチーム)がコンサルテーションを求められることと、倫理委員会の権限についても検討してみてください。